

Stage Up

ステージアップ VOL.204 2015年6月1日 (隔月発行)



《かわさきのイベントシリーズ②》
川崎大師風鈴市

もくじ

2 まち・ひと・多面体

- ・スリランカ自転車プレゼント
実行委員会の取組
- ・芭蕉の碑保存会の取組

3 シニアのパレット

- ・かわさきスポーツ
ドリーマーズの取組

4 特集

- ～学び、遊び、癒される
自然豊かなまち・かわさき～

6 施設めぐり

7 情報ポケット

誌上ギャラリー

毎年7月に開催される「川崎大師風鈴市」は、全国47の都道府県の風鈴が勢ぞろいする全国最大規模の風鈴市です。夏の風物詩として関東近郊はもとより全国的に親しまれています。

約900種類、30,000個の風鈴が一堂に集まり涼やかな音色を響かせます。今年は、第20回の風鈴市を迎えます。また、この期間中、古くなった風鈴に感謝の気持ちを込めて納める「風鈴納め所」が会場に設置されます。

《開催期間》 2015年(平成27年)7月17日(金)～7月21日(火)

《会場》 京浜急行「川崎大師」駅下車、徒歩8分。川崎大師境内で行われます。



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ Eメール:stage-up@kpal.or.jp



国を愛する気持ちから恩送り

～スリランカ自転車プレゼント実行委員会の取組～



「スリランカ自転車プレゼント実行委員会」は、ラシカ・アルナプリアさんと日本人の奥様の二人で活動しています。ラシカさんは、インド洋の南東ポーク海峡を隔てて位置する島国のスリランカ出身です。以前は、セイロンと呼ばれていました。ラシカさんは、世界でも数少ない初等教育から大学まで、全てが無償という国の教育を受けて育ちました。ラシカさんは、5年前に仕事の関係で日本に来て、現在、中原区に住んでいます。

ラシカさんが自転車を駅前に置いていたために撤去され、その自転車を受け取りに行ってみると、他にも多くの自転車が引き取られることもなく留置状態になっていました。担当者に自転車の行方を聞くと、廃棄か外国に運ぶといわれ、それなら自転車の利用価値が高いスリランカに送れないかとひらめいたと説明します。「スリランカでは、子どもが水を遠くから運ぶのに自転車が使われ、貴重な乗り物です。一人でも多くの人に使ってほしい。スリランカの国民に少しでも役立つことなら喜んで」と笑顔で話します。



ラシカ・アルナプリアさん

自転車を送るためには、できるだけコンパクトに部品を解体しコンテナに入れて配送します。この作業は、大変手間がかかるといいます。(下の写真は、コンテナに詰め込んで、港まで運び入れていく様子です。)5月には、初めて自転車をスリランカに送る予定と話していました。それまでにかかる経費についてたずねてみると、全額ラシカさんご自身が負担するそうです。「大変ですね」に対し、「金額よりも仕事の合間をみつけながら解体する時間を生み出すのに苦勞している。また、思った以上に事務手続きに時間がかかる」と苦勞の一端を覗かせます。「スリランカへ自転車を送りたいと思ったのは、幼児期から大学まで無償で学校教育を受けさせてくれた国への恩返し」と言い切ります。

ラシカさんの活動は、きっと次の世代に引き継がれていくのだろうと思いながら話に聞き入っていました。

「今は、一年に一回だが、スリランカの国民が役に立つならこれからも続けたい」と抱負を語るラシカさん。「できる限りスリランカの人々の必要とするものを支援していきたい」と話すラシカさんから、優しさや熱い想いが伝わってきます。



解体しコンテナに入れた自転車

■問合せ：ラシカ・アルナプリア TEL 090-9682-1613

人と地域が繋がり、地域の文化財と歴史を伝える
～芭蕉の碑保存会の取組～「麦の穂を たよりにつかむ
別れかな」

この俳句は、1694年(元禄7年)に故郷伊賀に向かう俳聖松尾芭蕉が見送りにきた門人との別れを惜しんで詠んだ句です。句碑は、川崎区の八丁畷(はっちょうなわて)駅から徒歩数分の場所にあり、土日は、見学者で賑わいます。芭蕉の句碑は、市内に他4基(稲毛神社、川崎大師平間寺、高津区の宗隆寺、宮前区の影向寺)あります。八丁畷にある句碑は、芭蕉の死後(130年後)に実際に詠んだといわれる場所に建てられていて、大変貴重な句碑です。その句碑を「芭蕉の碑保存会」(以下、「保存会」という)代表石川玲子さんの義母、とし子さんによって1964(昭和39)年に発見され、現在まで保存活動が継承されています。会員約16人。発見当時の人(97歳)も元気に活動しています。月1度の定例会や月3回句碑の点検や清掃、11月に大麦の種蒔きと収穫、近隣の花木の植えかえ、除草等楽しみのひとつにしています。健康面にも役立つと、満面の笑顔を見せてくれました。



江戸時代の川崎宿は、東海道の宿場町として栄え、麦わら細工が土産物として売られていました。その麦わら細工を復活させ、継承活動している「麦人の会」(本誌202号に掲載)へ、「保存会」は麦の提供を続けています。麦の種は、手に入りやすく、長野県の知人の協力ですてに入れてと話します。「芭蕉の時代は、辺り一面麦が黄金色に染まっていたはず。僅かでもその風情を市民に感じてもらえたら」と話し、「麦は、年ごとに植える場所を変えないと育ちが悪くなる。高齢者にとってはきついが、よく続いている」と笑顔で話す石川さん。



実る麦の穂

句碑の周辺には、「芭蕉ポケットパーク」もあります。そのベンチに座わり休憩すると、何故か当時の東海道川崎宿にタイムスリップしたかのような気がしてきます。ベンチの足元や石柱には、芭蕉の門弟が麦を季語にして詠まれた多くの句が刻まれています。この地は、麦が黄金色に茂った「麦の郷」であったことを想起させてくれます。

石川さんは、「50年以上、受け継がれてきた『保存会』の活動を次の世代に伝えていきたい。また、川崎の名所のひとつにしていくためには、人任せであってはならない。自分たちが進んで活動していくことが大切」と改めて保存会への活動に意欲を燃やしていました。



■問合せ：川崎市教育委員会
生涯学習部文化財課
TEL 044-200-3305

**元気・学び・ふれあい
広がる「広域型スポーツクラブ」
～かわさきスポーツドリーマーズの取組～**

ドリーマーズとは



ドリーマーズ
ロゴマーク

ドリーマーズは、「スポーツが育む人・まち・未来」をテーマに、スポーツ大好き、友だち大好きな子どもたちの育成と大人のスポーツへの関心と参加率を高めることをめざして活動しています。

現在、会長の齊藤義晴さんを中心に元行政や学校関係者、大学関係者、川崎市スポーツ協会加盟団体等々、130名以上がスポーツ指導や支援に携わり続けています。市民がライフスタイルに応じながら多様なスポーツや学習活動等を生涯にわたって行い、健康で活力のある生活を過ごしていくために、子どもたちへスポーツの基礎的な知識や技能、学習支援(教科学習を含む)を続けています。

子どもや保護者のニーズに応える活動

事務局(クラブハウス)は、川崎市立中原小学校体育館内に置かれています。

川崎市広域型スポーツクラブとして、平成23年度発足以来、子どもたちや保護者のニーズや評価に応え、毎年、着実に、教室数・会員数を増やしています。平成26年度の主な活動

- (1) スポーツ振興、健康保持増進、学習支援に関する事業(子どもの体力向上事業)
- (2) 中原小学校関係
 - ① 学校施設地域管理運營業務
 - ② 地域の寺子屋事業
- (3) 柿生地区総合型地域スポーツクラブ創設(3年計画)等の事業

「子どもの体力向上」をねらい、多くの子どもたちが参加できる体制づくりをすすめています。好きなスポーツを思う存分楽しみながら、学校・学年・学級を越えた友だちと交流を深めることのよさは、地域スポーツクラブの特徴となっています。現在、小・中学生を対象に、陸上、バレーボール、テニス、体操、バスケットボール、サッカー、学習支援や英会話教室等、33の教室(平成27年4月現在)を主催し開設しています。約1,500名の会員が自己の課題解決のために汗を流したり、人との豊かな関わりを広げたりしています。

地域の寺子屋推進事業が平成26年7月に本格スタートしてから、『寺子屋「中原」かわら版』を発行しています。また、寺子屋事業により「かわさきスポーツドリーマーズ」の活動内容を市民のみなさんに知ってもらえるようになりました。

また、「柿生地区総合型地域スポーツクラブ創設」に向け、スポーツ教室を日常的に実施しながら準備を進めています。

「かわさきスポーツドリーマーズ」(以下、「ドリーマーズ」という)は、特定非営利活動法人で英名をKawasaki Sports Dreamers(略称K.S.D.)と呼びます。「ドリーマーズ」は、2011年中原区を基盤に、川崎市全区に発信する広域型地域スポーツクラブとして発足。現在、各スポーツ教室の指導の他にも、2014年度から始まった「地域の寺子屋(中原区)」にも組織的に関わり、地域の存在感を高めています。

(1) 多彩なスポーツ活動支援

ドリーマーズは、小学校や市内のスポーツ施設を主な会場として、夏休みや冬休みには、スポーツ教室や英会話教室等も行っています。

川崎市スポーツ協会との共催事業にも取り組み、学校体育・市内の総合型地域スポーツクラブとも連携・協働しながら事業を進めています。

さらに、特別支援を必要とする子どものためのスポーツ教室も開催しています。



(2) 地域の寺子屋推進事業の取組

2014年度から始まった「地域の寺子屋推進事業」にドリーマーズの組織力と人材を生かしています。中原小学校では、平日の放課後に学習支援と土曜日に体験活動・世代間交流を開催しています。

昨年度は、宇宙航空研究開発機構大学の藤嶋徹先生の「飛行機の飛ぶしくみ」の話の後、飛行機を製作して飛ばしました。子どもと物づくりをする時間のない父親も、子ども時代を思い出しながら楽しんでいました。また、「親子で料理づくり」では、男の子の手に母親の手を添えながら包丁の使い方を教えるほのぼのとした様子が見られました。

▼科学教室



▼着衣泳



▼うどんづくり



▼星座観察



▼料理教室



▼スペシャル授業

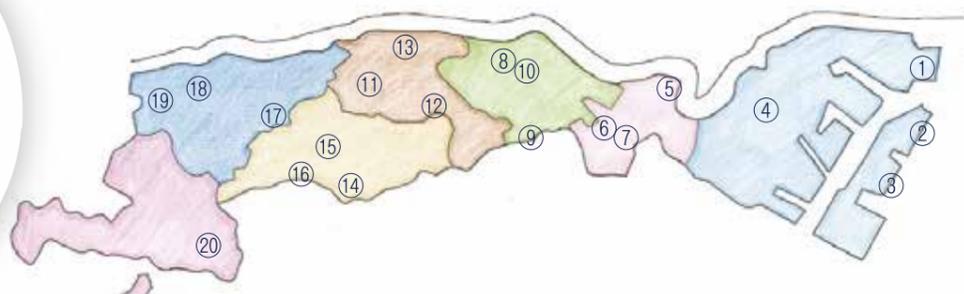


■問合せ：NPO法人かわさきスポーツドリーマーズ
「K.S.D.」事務局 TEL 044-733-4408

シニアのバレット

学び、遊び、癒される 自然豊かなまち・かわさき

特集



自然豊かなまち・かわさきマップ【公園・史跡編】

《川崎区》臨港部には、工業地帯が広がり工場等の民間地を市民が容易に立ち入ることができません。そのため、事業所の土地利用転換や臨海部の再編に伴い公園の緑地等を創出しています。

①浮島町公園は、新しい観光名所として期待され、「川崎市市民健康の森」と呼ばれています。②東扇島東公園は、運河を横切る大きな船が行き交う光景と人口海浜で潮干狩り、水遊び等が楽しめます。災害時には、首都圏臨海防災拠点として機能します。③東扇島中公園は、川崎マリエンに隣接し緑豊かな園内で、スポーツをしたり、バーベキューをしたりしながら家族や友だちと憩いの時間が過ごせます。④富士見公園は、くつろぎの場やスポーツレクリエーション等の総合公園の場として多くの市民が利用しています。

①浮島町公園



JR川崎駅から市バス川3「浮島町公園入口」下車

②東扇島東公園



JR川崎駅から市バス川05「東扇島公園前」下車

③東扇島中公園



JR川崎駅東口から市バス川05「川崎マリエン」下車

④富士見公園



JR川崎駅東口から市バス「教育文化会館」下車

《幸区》多摩川河川敷のやすらぎと潤いを提供する貴重な自然環境が残っています。⑤御幸公園は、小向梅林が道行く人々を楽しませ、多摩川緑地の立地特性も活かされています。⑥夢見ヶ崎動物公園は、本市の唯一の動物公園で小動物に触れたり観察したりできます。⑦加瀬山周辺は、歴史資源、緑の保全と自然環境等を活かした散策路になっています。

《中原区》⑧等々力緑地は、とどろきアリーナと市民ミュージアムとのコラボレーションが特色です。⑨井田山周辺は、ゲンジボタルが飛び交い幻想的な雰囲気を楽しむことができ「中原区市民健康の森」に指定されています。⑩中原平和公園は、緑の拠点として整備がすすめられ、公園内に市民の平和交流の場「平和館」があり利用することもできます。

⑤御幸公園



JR川崎駅西口北から市営バス「御幸公園」下車

⑥夢見ヶ崎動物公園



JR横須賀線・湘南新宿ライン新川崎駅下車徒歩15分

⑦加瀬山



JR横須賀線・湘南新宿ライン新川崎駅下車徒歩15分

⑧等々力緑地公園



JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅下車市営バス「等々力グラウンド前」下車徒歩5分

⑨井田山



東急東横線元住吉駅下車、徒歩約18分

⑩中原平和公園



東急東横線元住吉駅下車、徒歩約5分

今の川崎には、「ハイテク、重工業都市、多摩丘陵から連なる起伏ある街並み、多摩川の恩恵を受けながら発展してきた街」というイメージがあります。かつて高度経済成長時に「煙の都」と言われた記憶は、今では昔のここのようです。現在は、工業や商業、芸術等がうまく融合した川崎。これまで『Stage Up』は、川崎の多彩な魅力を工業都市(産業遺産)や物づくり(マイスター)、芸術・文化(映像、音楽、読書、スポーツ)、貴重な歴史的遺産等について取り上げました。

今回は、川崎市が「緑の保全と再生、創出、育成」に取り組み、自然豊かなまち・かわさきにふさわしい公園や史跡等が多くあることに着目しました。

花薫る好季節、自然豊かなまち・かわさきの公園や史跡を巡ってみませんか。
(参考資料「かわさきいいな」市民・こども局シティセールス・広報室)

《高津区》多摩川河川敷は、市民憩いの場や避難場所としての防災上重要な役割を担っています。⑪東高根森林公園や⑫橋樹官衙遺跡群、⑬久地円筒分水は、市や県の重要文化財と史跡等に指定され、貴重な歴史的散策路の公園として楽しむことができます。橋樹官衙遺跡群は、2015年3月に川崎市初の国史跡に指定されました。

《宮前区》⑭鷺沼公園は、桜のトンネルを訪れる人を迎え、スポーツができる大きな公園として、またユニークな遊具のある公園として利用されています。⑮菅生緑地は、面積約7.1haの緑豊かな公園で「水沢の森」として市民健康の森に指定されています。⑯宮前美しい森公園は、川崎市で一番新しい公園ですが、古くからあるものを生かし、昔から自生している大木を移植する等しながら歴史を大切に遺している公園です。

⑪東高根森林公園



JR南武線武蔵溝ノ口駅、田園都市線武蔵溝ノ口駅下車、市営バス「森林公園前」下車徒歩約8分

⑫橋樹官衙遺跡群



東急田園都市線武蔵溝ノ口駅南口下車、東急バス「橋出張所前」下車徒歩3分

⑬久地円筒分水



JR南武線ノ口駅、東急田園都市線武蔵溝ノ口駅下車、市営・東急バス「新平瀬橋」下車徒歩約1分

⑭鷺沼公園



東急田園都市線鷺沼駅下車徒歩約5分

⑮菅生緑地



東急田園都市線宮前平駅下車、市営バス「清水台」下車、徒歩5分

⑯宮前美しい森



東急田園都市線たまプラーザ駅下車、北口より徒歩約13分

《多摩区》多摩区は、多摩川沿いの積低地と多摩丘陵で形成されているため、多摩川との関係が深く、多摩川の生きものの豊かな生息地と市民の憩いの場として活用されています。⑰生田緑地の豊富な緑と緑地内の博物館や美術館等の文化施設は、市内外から見学や自然観察等に訪れる人の多い公園です。⑱川崎市緑化センターや⑲アグリパーク(川崎市農業技術支援センター)は、農業研究所として校外学習観察の場にも活用されています。

《麻生区》麻生区全体が、尾根線に囲まれ、独立性の高い環境を形成しています。⑳王禅寺ふるさと公園は、市制60周年を記念して作られた公園です。緑と農の三大拠点(黒川・岡上・早野地区)は、「農ある風景」として現在も継承されています。

⑰生田緑地



小田急線向ヶ丘遊園駅下車南口より徒歩13分

⑱川崎市緑化センター



JR南武線宿河原駅下車徒歩5分

⑲アグリパーク(農業技術支援センター)



小田急線読売ランド前駅より小田急バス城下行き(菅高校経由)「菅高校」下車徒歩約10分

⑳王禅寺ふるさと



小田急線読売ランド前駅より、小田急バス「菅高校」下車、徒歩6分

施設めぐり

高津区

大山街道ふるさと館

JR武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝の口駅下車徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車徒歩5分 TEL 044-813-4705

歴史をつなぐ人をつなぐ 大山街道ふるさと館

大山街道ふるさと館では、児童・生徒の郷土愛を育むことを大切な柱と考えています。小学生へは「ふるさと出前授業」や「大山街道子ども探検クラブ」等で実績をあげています。今年度は、中学生にも焦点をあて、特に総合的な学習の職業体験でふるさと館利用の促進や文化教室における地域学習への講師派遣等にも積極的に進めています。

児童・生徒を対象にした事業企画を紹介します

- 1「子ども大山街道探検クラブ」(月1回)
 - ・大山街道沿いの史跡見学、二ヶ領用水清掃等、さまざまな体験活動を行います。
- 2「ふるさと子ども出前授業」(6月中旬から下旬)
 - ・小学生(3年生)を対象に郷土理解学習のための支援を行います。
- 3「郷土理解講座」(夏休み中)
 - ・大山街道をテーマに中学生(1年生)を対象に講座を企画します。



ふるさと子ども出前授業



中学生のための郷土理解講座

- 4「地域学習協力事業」(随時)
 - ・職業体験活動へのふるさと館の利用、文化教室体験教室の講師派遣等。
- ※事業内容の詳細は当館にお問い合わせください。

麻生区

川崎市立麻生図書館

小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩5分 TEL 044-951-1305



1985(昭和60)年7月、麻生市民館との複合施設(麻生文化センター)としてオープンしました。麻生文化センターの1階・2階部分にあります。周囲は、区役所等市の施設が隣接し、近くにアートセンターや昭和音楽大学等、多くの芸術・文化施設もあります。建物は自然の傾斜を上手く利用し、神奈川県建築賞を受賞しています。



おはなし会

毎週水曜日に子ども向けおはなし会を開催(申込不要)

- ・2歳児 第2・4水 10:30~10:50
- ・3歳~4歳児 第1~4水 14:30~14:50
- ・5歳児~(小学生も可) 第1~4水 15:00~15:30



医療健康コーナー

健康管理に役立つ図書・チラシ資料等を置いています。



各コーナーの充実



特集コーナー

話題の映画・ドラマや季節に合わせた展示をしています。



しんゆり映画祭展示



一般閲覧席(38席)

川崎区

川崎・砂子の里資料館

JR川崎駅下車、徒歩6分。京浜急行京浜川崎駅下車、徒歩3分
TEL 044-222-0310



川崎・砂子の里資料館外観

川崎・砂子の里資料館は、平成13年の開館以来140回を超える展覧会を開催してきました。平成24年には、南フランスのアルビ市にあるルートレック美術館にて、浮世絵展を開催するなど、浮世絵の蒐集と展示にかけた斎藤文夫館長の情熱は、国境を越えて多くの方々の絶賛をあげました。この小さな資料館の偉大なるコレクションから、今年は浮世絵の歴史をたどる展示を開催しています。

6・7月浮世絵の歴史展示

6・7月は、江戸の町民文化が華々しく発展した文化文政期の初代豊国や英泉、北斎らの浮世絵を中心に紹介します。浮世絵をとおして、その時代を生き抜く人々の姿を是非、ご覧ください。



葛飾北斎
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏



初代 歌川豊国
六郷渡舟図



溪斎英泉
美人会中鏡 時世六佳撰

**等々力陸上競技場
メインスタンドリニューアルオープン**

- ・JR武蔵中原駅下車、徒歩15分
 - ・東急東横線目黒線新丸子駅下車、徒歩15分
 - ・JR武蔵小杉駅からバス「市営等々力グランド入口」下車、徒歩5分
- TEL 044-722-0303

2014(平成26)年12月から改築工事を行ってきた等々力陸上競技場のメインスタンドがリニューアルオープンしました。

2015(平成27)年3月13日、「完成記念式典・内覧会」が行われ、翌日から利用が始まっています。「かわさきの魅力」のひとつ「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」とのコラボレーションによりキャラクターのブロンズ像を設置し、ドラえもんやパーマン、チンプイ等のキャラクターが、新メインスタンドのコンコースや入場ゲート、デッキ近くの8ヶ所に設置されています。



藤子キャラクターブロンズ像

**～みんなが楽しめる「公園一体型スタジアム」～
2015年3月リニューアルオープン**

新たにメインスタンドが完成し、27,495人収容することができ、川崎フロンターレ等のサッカーや各種陸上競技大会、市民マラソン等幅広く市民に利用され親しまれています。

ピッチ側から



上空から全景



競技場内から



メインスタンドの特徴ワンツースリー

- 1.バラエティーシートの導入**
利用者に楽しんでいただくために、パーティーシートやペアシート等多様な観客席を導入。
- 2.LED照明の採用**
スタジアムで使われるグランド照明は、消費電力の少ないLED照明を採用。
- 3.大型映像装置の設置**
南側サイドスタンドの上層階に、北側サイドスタンドに設置されている映像装置と同程度のサイズの大規模映像装置を設置。

平成27年度 第Ⅱ期

■会場 生涯学習プラザ

陶芸教室

- 受講対象者は18歳以上の市内在住・在勤者
※)市外の方は定員に余裕があれば可能です。
※)電動ろくろ希望者は手びねり経験者に限ります。
- 費用には、受講料以外に教材費(粘土・釉薬・焼成)が含まれています。
- 講座は全12回、陶芸家の先生の学習計画にそってすすめます。
- 定員を超えた場合は、抽選になりますが初めての方を優先しています。
- 詳細の案内チラシは、各区の区役所・市民館・図書館のプラザ情報コーナー等に置いています。
- 申込み締切：7月3日(金)です。(必着) ※往復ハガキで申し込みください。



陶芸作品

コース	水曜手びねり	水曜電動ろくろ	土曜手びねり	土曜電動ろくろ
期間	8月5日～11月11日(全12回)	8月5日～11月11日(全12回)	8月1日～11月14日(全12回)	8月1日～11月14日(全12回)
時間	9:30～12:30	13:30～16:30	9:30～12:30	13:30～16:30
定員	15名	10名	15名	10名
費用	33,000円	39,000円	33,000円	39,000円
講師	陶芸家 三宅 直子 先生		陶芸家 花塚 愛 先生	



電動ろくろ



手びねり

■問合せ
川崎市生涯学習財団 事業推進室陶芸担当
中原区今井南町514-1
TEL 044-733-5893
Eメール suisin6@kpal.or.jp

「団体・グループ情報」「指導者・人材情報」

2015年10月ホームページに公開予定

- 団体・グループ(サークル)のメンバーを募集したい!
→生涯学習財団の「団体・グループ情報」にぜひご登録を。
- 自分の知識・技術を生かしたい!
→生涯学習財団の「指導者・人材情報」にぜひご登録を。

登録申込書は生涯学習プラザ、またはホームページからダウンロードできます。

かわさきの生涯学習情報

あとかき

■スリランカに自転車を送るラシカさんは、「自転車を送る理由は、国への恩返し」と話す。■ところで「五体不満足」の著者乙武洋匡さんが『自分を愛する力』の著書で「今日まで、私が積極的に自信をもち行動できたのは、両親が自己肯定感を育ててくれたから」と。■両親には、もちろん感謝しているが、単に両親への恩返しではなく「恩送り」の気持ちからだという。■さて、恩送りとは、誰かから受けた恩を直接その人に返すのではなく別のの人に送ること。自分の行動が社会に正の連鎖を起こすことにも繋がるという。■ラシカさんは、スリランカの次の世代に正の連鎖を起こすために取り組まれているように思える。

2015年度 川崎市青少年地域間交流事業

ふれあい サマーキャンプ 参加者募集 !!

夏休み、大自然の中で素敵な体験が皆さんを待っています。川崎市の代表として楽しい文化交流を体験してください。



■参加対象：市内在住、在学の小学校5年生～中学校2年生。※参加費は、集合（解散）からの往復交通費。宿泊・食事第・保険料を含む。雨天決行

コース名	日	程	募集人数	参加費
島根県 益田市	7月24日(金)～7月27日(月)		小学生 14人 中学生 6人	47,000円 50,000円
和歌山県 古座川町・太地町	7月28日(火)～7月31日(金)		小学生 16人 中学生 8人	37,000円 49,000円
長野県 富士見町	7月28日(火)～7月31日(金)		小学生 30人 中学生 10人	19,000円 20,000円
岩手県 花巻市	7月31日(金)～8月3日(月)		小学生 16人 中学生 8人	38,000円 48,000円
北海道 中標津町	8月19日(水)～8月22日(土)		小学生 16人 中学生 8人	52,000円 60,000円

- ①益田市「川遊び」
- ②花巻市「和紙すき」
- ③中標津町「溪流釣り」
- ④富士見町「酪農体験」
- ⑤古座川町・太地町「カヌー」

【申込みについて】

● 期日：5月22日(金)～6月5日(金)必着

● 方法：FAX・ハガキ、Eメールで参加希望者（2人以内）の氏名（ふりがな）、住所、電話番号、学校名、学年、性別、生年月日、希望コース（第2希望まで）を明記し、下記までお送りください。
《定員を超えた場合は抽選となります。》

* 6月13日（土）午後3時より公開抽選を行います。（川崎市生涯学習プラザにて）

* 6月27日（土）参加者説明会には、参加者は保護者同伴で出席ください。（川崎市生涯学習プラザにて）

①10:00～11:30 長野県、岩手県コース ②14:00～15:30島根県、和歌山県、北海道コース

* 7月4日（土）参加者追加説明会（生涯学習プラザ） 13:30～15:00 全コース

● あて先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1（公財）川崎市生涯学習財団サマーキャンプ係

FAX：044-733-6697 Eメール：summer-camp@kpal.or.jp

● 問合せ：（公財）川崎市生涯学習財団 事業推進室 TEL 044-733-5572（月～金）

* 財団ホームページ <http://www.kpal.or.jp>で「ふれあいサマーキャンプ」を紹介しています。

〈夏休み特別講座〉 たのしい キッズセミナー

小学校3年生から6年生までを対象に、夏休みに「おもしろ科学」や「わくわく造形教室」等、楽しく充実した学習活動を提供。今年度も下記の日程で実施します。

期日 **7月21日(火)～7月25日(土)の5日間**（午前10時～12時、午後1時～3時）

場所 川崎市生涯学習プラザ 川崎市中原区今井南町514-1

指導者 「NPO法人教育活動総合サポートセンター」に登録された、市内公立学校を経験した先生方です。

対象学年 小学校3年生～6年生（原則、生涯学習プラザに通える児童）

講座内容（講座はそれぞれ対象学年、回数に違いがあります。応募者が少ない場合は、閉講もあります）

★日本語を楽しもう(全2回) ★社会科ふしぎ発見(全4回) ★算数レベルアップ①・②(各2回) ★チャレンジ算数①・②(各2回) ★楽しい理科A・B(全2回) ★おもしろ科学①・②A・B(各2回)③A・B(全1回)
★わくわく造形教室A～D(各2回) ★楽しい音楽(全2回) ★楽しい英会話遊びA・B(各2回) ★キッズパソコンA・B(各5回)

申込期間 **6月2日(火)～6月25日(木)** 定員に満たない講座は、7月6日(月)まで、継続して募集。

申込方法 申込書に記入し、Fax または郵送、直接財団へ

受講料 各講座とも1回1,100円（その他通信費等として200円、保険料として1日当たり30円がかかります）
【受講料の納入は、郵便局です】※案内チラシは、中原区・高津区の全小学校（3～6年の全児童）に配布するとともに、各区の公的機関（区役所・市民館等）にも置いてあります。

問い合わせ先 公益財団法人 川崎市生涯学習財団 事業推進室
〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044(733)6626

FAX 044(733)6697

Eメール suisin5@kpal.or.jp